令和6年度第4回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会 議事録

1 日 時： 令和6年10月23日（水）午後2時00分～午後3時35分

2 場 所： 千葉市役所4階 調停室

3 出席者：

(1) 委 員 石井慎一委員（部会長）、観音寺拓也委員、霞晴久委員、馬場宏輝委員

(2) 事務局

（都市総務課）瀧本課長補佐、舘主査、池本主任主事

（公園緑地部）小川部長

（公園管理課）佐野運営調整担当課長、和田主査、篠原技師

4 議 題：

(1) 千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理予定候補者の選定について

5 議事概要：

(1) 千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理予定候補者の選定について

申請者から提出された書類について、事前に形式的要件の審査（各団体が募集要項に定める応募資格すべてを満たし、かつ、失格要件のいずれにも該当しないことを確認すること）を行い、要件をすべて満たすことを事務局から報告し、確認した。その後、申請者によるプレゼンテーション、質疑応答、採点を行い、採点結果を事務局において集計。採点結果について委員間で協議し、SSP UNITEDを指定管理予定候補者として選定した。

午後 2時00分 開会

【都市総務課長補佐】 それでは、委員の皆様、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

ただいまより、令和6年度第4回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

本日の司会進行を務めます都市総務課課長補佐の瀧本でございます。よろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、委員の皆様5名のうち4名の方々が御出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しております。

開会に当たりまして、公園緑地部長の小川より御挨拶を申し上げます。

【公園緑地部長】 公園緑地部の小川でございます。

委員の皆様には大変お忙しい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より本市の公園緑地行政をはじめ市政各般にわたりまして多大な御支援、御協力をいただきまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、本日は千葉市蘇我スポーツ公園の来年度からの指定管理予定候補者の選定をお願いするものでございます。

蘇我スポーツ公園につきましては、いまさら皆様に申し上げる状況ではございませんが、フクダ電子アリーナをはじめまして、複数の多目的グラウンド、テニスコート、野球場、スケートパークなどを有する運動公園で、本市のスポーツ振興の拠点であります。また、本市の魅力を支える大規模な公園の一つでもあり、この公園を民間のノウハウを生かし、サービスの向上、さらには経費の削減等に努めていきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、それぞれの御専門の立場から審査のほうをよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【都市総務課長補佐】 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成について御説明いたします。

お手元の資料3、千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等についてを御覧ください。本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの(1)ただし書きイにより非公開としておりますので、あらかじめ御承知おきください。また、議事録につきましては、2、議事録の確定の(1)及び3、部会の会議への準用により、事務局が案を作成し、皆様に

内容を確認していただいた後、部会長の承認により確定させていただきます。なお、事業者の選定後、公開とする予定でございますので、御了承願います。

ここで、議事に入る前に、本日の議事の流れについて御説明いたします。

まずお手元の資料5、指定管理者の公募に対する応募者一覧を御覧ください。

このたびの公募に対しまして4者から構成されるSSP UNITED、1団体から応募がございました。当該団体は代表企業を株式会社千葉マリスタジアムとし、構成企業はジェフユナイテッド株式会社、日本メックス株式会社、日本体育施設株式会社としております。

続きまして、本日の議事進行について御説明いたします。お手元の資料6、議事の進行について御覧ください。

初めに、第一次審査結果及び第二次審査事務局採点については、この後、施設所管課である公園管理課から説明させていただきます。

その後、霞委員から応募者の財務分析について御解説いただきます。続いて、応募者による10分間のプレゼンテーションと、20分間の質疑応答を行います。プレゼンテーション終了1分前に、事務局から応募者に対してお知らせをいたします。なお、応募者への質疑応答中に事務局への確認事項がございましたら、応募者が退出後に時間を設けておりますので、そこで御質問いただきたく存じます。

応募者退出後は、皆様それぞれに採点を行っていただきます。採点方法は、採点時に事務局から改めて御説明いたします。採点終了後、委員同士による意見交換していただき、採点表を再確認した後、採点の確定となります。採点後は事務局にて採点表の回収、集計をした後、委員の皆様を集計結果をお配りし、その結果を発表させていただきます。

最後に、集計結果を基に応募者を指定管理予定候補者に選定するかどうか御審査いただき、選定された場合は、選定理由や評価する点などについても御意見をいただき、閉会となります。

以上で説明を終わらせていただきます。

ただいまの説明に対しまして何か御質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、ここからは石井部会長に議事を進行していただきます。

石井部会長、よろしく願いいたします。

【石井部会長】 石井でございます。それでは、議事進行させていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしく願いします。

では、議題（１）千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理予定候補者の選定についてに入ります。

まず、一次審査結果及び二次審査事務局採点について、事務局より御説明をお願いします。

【公園管理課運営調整担当課長】 公園管理課の佐野です。よろしくお願いたします。私のほうからは、一次審査と二次審査事務局採点の結果の報告をさせていただきたいと思ひます。着座にて御説明させていただきます。

まず、今日、机上に配らせていただきました第一次審査結果と記載されていますA4縦版の資料を御覧いただけますでしょうか。

こちらは、左側の行側に審査項目9項目ほど書かせていただいております。こちらは、募集要項11ページの8の（１）に応募資格として9項目記載されておりましたものでございます。①から⑨までそれぞれ確認をいたしました結果、全て満たしていると、要件を満たしているという結果となりましたので御報告させていただきます。

それから、二次審査事務局採点報告の御説明をさせていただきますが、まず、お手元の資料、資料7を御覧いただけますでしょうか。

資料7のほうを御覧いただきますと、一部その点数を記載しております項目がございます。全部で5項目ございますが、2の（１）、それから少し飛んで5の（２）、それから6の（１）、（３）、（４）、それぞれ数字、点数が入っておりますが、そちらが事務局の採点項目となっております。それぞれの採点の算定方法につきまして、今度はA3横版の資料が資料7と一緒につづられているかと思ひますが、そちらを御覧いただけますと幸いです。

上から2の（１）、まずは同種の施設の管理実績、これは配点5点の項目となっております。この項目は、有料スポーツ施設を含む公園の管理実績に応じて評価をする項目となっております。今回4者の共同事業体となっておりますが、それぞれの実績を確認しました。現在の指定管理者と同一の構成員となっておりますので、今回、選定基準に照らしてアの項目に該当いたします。そうしますと、いずれの会社も5点というふうになりますので、それぞれ責任割合、これは構成員の責任割合を、確認書という資料がございまして、そちらのほうで決めているんですが、具体的には、お手元の冊子になっている資料の申請書類のSSP UNITEDのインデックスの一番末尾に、千葉マリン定款と書いてある中表紙のすぐ手前に確認書というのが入っております。こちらに上段1のところ、リスク及び利益、欠損の配分割合ということで、責任割合がこちらのほうで決められております、この割合を先ほどの点数に掛けまして、その合計点を出したところ5点という結果になりました。採点表のほうには、この5点という記載をしております。

続きまして、次の5の(2)、管理経費、これは指定管理料のことですが、配点20点の項目となっております。こちらは、指定管理料の上限額、これは管理運営の基準では基準額と表現しておりましたが、その額からどれだけ今回の提案書で減額されているかという削減率に応じて評価を行うものとなっております。採点に当たっては、その選定基準の抜粋の項目を御覧いただきたいのですが、まずaとしてその基礎点、これは基準額、これは募集要項のほうにも記載ございましたが、14億6,500万円となっております。この額を超えない場合に20点満点のうち12点をまず与えます。

次に、bの加算点ですが、残り8点について、基準額からどれだけ削減されたかという削減割合に応じて計算を行いまして、その満点で8点を加算してまいります。その結果、右側を御覧いただきますと、aについては、基準額14億6,500万円から、提案書上は14億5,185万5,000円となっておりますので、下回っているということでまず12点、それから加算点としましては、その減額分に基づきまして計算をしましたところ、四捨五入をしておりますが1点と、この1点と12点合計しまして13点という採点になっております。

続きまして、3項目目、6の(1)、市内産業の振興でございます。これは、配点3点の項目になっておりますけれども、申請者の本社等の所在地に応じて市内業者の育成や地域経済の活性化という観点から評価をする項目でございました。それぞれ、構成員の所在地を見たところ、株式会社千葉マリスタジアム、ジェフユナイテッド株式会社は市内業者、それから日本メックスは準市内業者、市内に支店があるという会社になっております。それから日本体育施設株式会社は市外業者、市内に本社、支店がないということになっております。それらに基づきまして計算をしましたところ、2.54点、四捨五入をしまして3点ということになっております。

続きまして、6の(3)です。市内雇用への配慮、これは配点3点の項目ですが、市内在住者の割合に応じて評価をするものとなっております。これは、要は職員の市内在住者の割合ということなんですが、市内在住者が、例えば8割以上だと満点の3点というような配点になっております。こちらにつきましては、全体の職員の市内在住者の割合を出したところ0.6875というような数字になっておりますので、5割以上8割未満の2点というような採点になっております。

最後に、6の(4)、障害者雇用の確保、配点3点になっておりますが、これは法定雇用率からの上乗せ分はどれだけあるかということと、あと実際にその施設でどれだけ障害者雇用を行なおうとしているかということでの採点になってまいります。

まず、aの法定雇用率の達成状況ですけれども、根拠資料としましては、申請書類の中の提案書の22号と障害者雇用状況報告書というのがあるんですけれども、こちらのほうで確認しまして、株式会社マリスタジアムにつきましては達成しておりますので1点、ジェフユナイテッドにつきましては、これは法定雇用が1未満となっておりますので……

【公園管理課】 法定雇用が1未満だとしても1点加算されるというような計算になりますので、こちらもジェフユナイテッドに1点が加えられております。

【公園管理課運営調整担当課長】 株式会社マリスタジアムは法定雇用率を2ポイント以上上回っておりませんが、達成はしているので1点ということになります。日本メックスにつきましても同様です。それから、日本体育施設についても同様となっております。これらをそれぞれの全体の従業者数に対する障害者雇用の人数の割合で掛けて、その合計を出したところ、四捨五入にはなりますが、結局それぞれ1点ですので、結局1点ということでまずは採点をしておりまして、次にbの施設における障害者雇用ですけれども、施設において障害者を1人以上雇用する場合は1点ということになっておりますので、その合計で2点となっております。全体で、事務局採点分ですが34点中、SSP UNITEDにつきましては25点となっております。

御説明は以上となります。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの御説明に対しまして、委員の皆様、御質問等ございましたらお願いいたします。

はい、どうぞ。

【観音寺委員】 今御説明いただいた市内産業の振興について、大した点数の違いではないのですが、ここだけ少し違和感を覚えました。リスク割合で割っていますが、準市内や市外の団体があるのに3点の満点になっているのは、少し違うのではと感じました。四捨五入した関係で2.54が3になっているということなので、1点の違いですが、この項目の採点はマリン3点、ジェフ3点、メックス2点、体育施設0点で足してそれを4で割るべきだという気がしました。ちなみに、全部足すと8点になるので、4で割ると2点という考え方でやった方が良い気がして、満点というのは少しどうなのかなと感じました。

以上です。

【石井部会長】 この点、もう基準でそうやると決まっているのですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうですね、四捨五入で算定することにはなっております。

【石井部会長】 そうではなく、リスク割合でやるという考え方が決まっているかという質問です。

【公園管理課】 そうです。選定基準には、各構成団体について基準に基づいて採点し、それぞれの責任割合を乗じた後、それを合計して得点を計算する、1点未満の端数は小数第1位を四捨五入すると選定基準のほうに記載されておりますので、選定基準のほうでその責任割合を乗じるというような考え方にに基づいて算出しております。

【観音寺委員】 了解しました。基準でそう書いてあるなら問題ございません。

【石井部会長】 ではそこは今回もうこれで決定ということで、次回以降どうするかをまた検討いただければと思います。そのままなのか、今の御意見を踏まえてどうするのかというところをお願いします。

【観音寺委員】 ありがとうございます。

【石井部会長】 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、続いて、霞委員から応募者の財務分析結果を御説明いただきます。

霞委員、お願いいたします。

(経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

それでは、財務分析は以上で終わりとします。

このままヒアリングに移ってよろしいでしょうか、委員の皆様。

(「はい」の声あり)

【石井部会長】 では、応募者をお呼びください。

(SSP UNITED 入室)

【石井部会長】 本日は御出席ありがとうございます。これから、御提案内容につきまして10分以内で御説明をいただきます。終了1分前に事務局から鐘で合図を鳴らします。説明終了後、こちらから質問いたしますので、簡潔に御回答をお願いいたします。

それでは、お願いいたします。

【株式会社千葉マリスタジアム(佐川)】 それでは、座らせていただいて失礼いたします。

SSP UNITEDでございます。このたびは、千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理者応募の機会をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

私たち、SSP UNITEDは、スポーツや文化を通じた、千葉市の発展と千葉市蘇我スポーツ公園を含めた、地域のさらなる発展という同じ目的で団結した共同事業体でございます。

ここで、本日の出席者及び共同事業体を構成しております企業の紹介をさせていただきます。
私は、代表企業であります株式会社千葉マリスタジアムの総務部長佐川でございます。よろしくお願ひいたします。

私の隣が、現在、千葉市蘇我スポーツ公園副統括責任者を務めております魚路でございます。

【株式会社千葉マリスタジアム（魚路）】 よろしくお願ひいたします。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 所属は代表企業であります株式会社千葉マリスタジアムでございます。

その隣、構成企業のジェフユナイテッド株式会社の佐藤でございます。

【ジェフユナイテッド株式会社（佐藤）】 よろしくお願ひいたします。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 後ろになりますけれども、構成企業の日本メックス株式会社の渡辺でございます。

【日本メックス株式会社（渡辺）】 よろしくお願ひいたします。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 そして後ろ、その隣の日本体育施設株式会社の石井でございます。

【日本体育施設株式会社（石井）】 よろしくお願ひいたします。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 代表企業であります株式会社千葉マリスタジアムは、平成元年に千葉マリスタジアム、現在のZOZOマリスタジアムの管理運営会社として設立され、千葉マリスタジアムの施設管理並びにプロ野球開催時の運営、3万人規模のコンサートの誘致及び自主開催など多数の事業を成功させてまいりました。

蘇我スポーツ公園に誘致し、開催しております大型音楽フェス、ジャパングラム並びにロックインジャパングラムフェスティバルにつきましても、引き続き主催者をサポートし、地域のにぎわいや創出、千葉市の経済効果に貢献してまいります。また、千葉市内のコミュニティセンターなど公共施設の管理運営も多数行っております。これらの管理運営実績と経験を踏まえ、蘇我スポーツ公園の指定管理者SSP UNITEDの代表企業として、施設の管理運営と様々な自主事業を行ってまいります。

次に、構成企業でありますジェフユナイテッド株式会社は、1993年の創設時よりJリーグに所属するプロサッカークラブです。フクダ電子アリーナの建設には大きく関わり、竣工時からフクダ電子アリーナをホームスタジアムとしております。Jリーグクラブとしてホームゲームを開催することで、地域の活性化へ大きく貢献し、まちづくりや地域のスポーツ振興を推進してきた実績がございます。「フットボールの力で心をつなぎセカイに彩りを」を理念に、人々

の生活を楽しく、地域を元気に、社会を幸せに、世界のコミュニケーションをすばらしいものにするビジョンを掲げるジェフユナイテッドの存在価値を十分に発揮し、サッカーに限らず、様々なスポーツを通じて、蘇我スポーツ公園がスポーツ文化の振興や地域交流の拠点となるよう、世界に誇れるスポーツ文化を醸成してまいります。

次に、構成企業であります日本メックス株式会社は、創業以来52年間、建築物の諸機能を十分に理解し、建物保全業務を円滑、効率的に実施し得る専門会社として多くの建物の維持管理、修繕業務を行ってまいりました。また、2020年にNTTグループの一員となり、安心して快適、先進的な未来、サステナブルな社会の実現に貢献しております。全国180以上の拠点に建物維持管理及び保全業務に必要な資格57種、延べ7,685名の有資格者を置き、確かな技術、知識、ノウハウ、豊かな経験と実績を基に、お客様の満足を第一に、安心・安全、快適に努め、建物の維持管理、保全を蘇我スポーツ公園でも実践しており、施設を良好に維持しております。引き続き施設維持管理を担当してまいります。

次に、構成企業であります日本体育施設株式会社は、仙台スタジアムなどのJリーグスタジアム、Mazda Zoom-Zoomスタジアム 広島といったプロ野球球場の管理運営の実績を多数持ち、また、中山競馬場天然芝張替工事を行うなど、多岐にわたる天然芝に関する施工実績を有します。ジェフユナイテッドの練習場であるユナイテッドパークの芝生管理も行っている企業であり、練習場とフクダ電子アリーナの天然芝一体管理を行うことで、ターフのクオリティ向上を目指していきます。

また、プロ仕様の天然芝管理だけではなく、フクダ電子グラウンドや、フクダ電子スタジアムの芝生管理においても品質を第一と考え、管理運営の基準に対して、プラスアルファの管理を行い、課題解決に向け取り組むとともに、これまで日本全国で培ってきた技術、経験を各施設の芝生管理に生かしてまいります。さらに、植栽、公園園地管理においても、千葉市都市公園緑地維持標準仕様書に基づき、適切な方法による管理を行ってまいります。

それでは、SSP UNITEDの提案について御説明させていただきます。

提案書の要約資料に記載しておりますが、まず指定管理者として、どのように蘇我スポーツ公園を運営していくかにつきましては、市民サービスの向上、管理経費の縮減を図ることを大きな目的として、千葉市と連携・協働しながら管理運営を行います。公正・公平で透明性の高い施設管理運営を行うとともに、創意工夫により利用者サービスの向上を図り、施設の価値を最大限に高めることが蘇我スポーツ公園の運営課題と認識しております。

維持管理業務におきましては、引き続き安心・安全、快適な施設管理を目指します。誰でも

快適に過ごせる環境づくりを心がけ、簡易テントや折りたたみ椅子の貸出、夏場においては日よけテントや休憩用のベンチを設置し、公園内の植栽については、美観を損なわぬよう枯死など倒木の危険性の確認、剪定の高さや切り口など、安全にも配慮した管理を行ってまいります。

次に、数値目標を達成するために様々な施策を行っていきたいと考えております。関連する団体、関係機関への広報活動を行い、蘇我スポーツ公園の内容や魅力を改めて説明いたします。また、ジェフユナイテッドの持つネットワークを活用し、サッカーに限らず様々なスポーツイベントや教室を実施し、利用促進を働きかけます。パラスポーツ団体にも積極的に施設利用を提案し、利用促進を図るとともに、健常者にも体験会等に参加していただき、相互理解を深める活動を行ってまいります。

シルバー世代のスポーツを通じた健康増進を主眼とした教室の実施や、保育園や幼稚園児への運動能力向上のための施設利用案内、各種競技団体との連携を図り、数値目標の達成を目指します。

稼働率の向上策として、平日利用の促進、利用者のニーズに合った貸出しが重要と考えられるため、平日にシニア層をターゲットとしたグラウンドゴルフ大会や教室、健康体操教室を開催し、施設利用のきっかけづくりに努めます。また、企業主催の大会やイベントを積極的に誘致し、平日の利用を促進します。

夏場における各施設の早朝利用やグラウンドの日没時間までの利用延長など、利用者のニーズに合わせた貸出しを行い、利用者サービス向上とともに利用率向上を図ります。そして、SSP UNITEDは、今までの管理実績を基に、防災・防犯、障害者のスポーツの振興、SDGsの取組などを特別提案に掲げ、蘇我スポーツ公園が千葉市のスポーツの中核施設、並びに防災公園となるよう管理運営に取り組んでまいります。

最後になりますが、蘇我スポーツ公園を含めた地域のさらなる発展に貢献したく、引き続き指定管理者に応募させていただきました。これまでの日々の経験を糧とし、蓄積してまいりました実績と経験を利用者の皆様に様々な形でお返しできるよう、指定管理業務を行ってまいります。

以上、よろしく願いいたします。

【石井部会長】 ありがとうございます。

準備してきた話で今できていないこと、時間が足りなかったこと等は特にはないですか。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 ございません。

【石井部会長】 それでは、質疑応答を行います。委員の皆様、御質問等あればよろしくお願

いします。

はい、どうぞ。

【観音寺委員】 御説明ありがとうございます。

こちらの提案書の60、61ページ、その他市長が定める基準の中の公園全体を利用した大規模な催しについての考え方（8）2についてですが、具体的な内容として大型コンサート、ジャパンジャムとロックインジャパンフェスティバルがあると思います。記載の内容を実行いただければと思いますが、これまでやられてきて誘致等も含めて課題に感じていることや、この課題に関して今後どのような形で解決していくか、お考えをお聞かせください。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 それでは、まず私からお答えします。

実は、私も蘇我スポーツ公園の管理は、指定管理を一番先に私どもの会社が取ってから8年間行いました。今の総務部長として総務のほうで仕事をしているわけですが、このジャパンジャムに関しては2007年から誘致をして、途中コロナ禍において1回中止になっていますが、蘇我スポーツ公園では7回実施されています。ロックインジャパンに関しては2年前より第2回が終わっているという状況です。

回数を重ねるごとにその来場者の数は、主催者が当初3万人から5万人、今度7万人を蘇我スポーツ公園に集めるというような計画をしている中で、一番懸念に思うのが、地域の人たちにとって、それだけの大勢の来場者が集まるという意味では地域対策が重要な課題になってくると思います。これについては提案書にも書いてあるように、我々SSP UNITEDとして主催者に協力できることは、地域との連携をまず図って、そのような大型のフェス、コンサートが行われるときに、いかに地域と密着して、理解を得た上でフェスを開催することができるかというところは常に意識しております。さらに地域だけに限らず最寄りの駅、商業施設、こういうところに関しても密に情報交換をして、ジェフユナイテッドが蘇我、千葉市に来るときにも、駐車場問題だとか、そういったものがありました。それを実績に、今回ジャパンジャムが第1回目入るときにも、早急にそのような問題を解決した上で人々を集めました。まず指定管理者としては、そういった問題解決を速やかに行って、問題が起こらないような形でやるように主催者と利用の仕方については詰めてやっていますが、一番大事なのはその点だと思います。

あと何かあれば。魚路さん、大丈夫ですか。

【株式会社千葉マリスタジアム（魚路）】 はい。

【観音寺委員】 ありがとうございます。

もう1点、隣の61ページです。(5) スパルタンレースの誘致の記載があり、提案書を読ませていただきました。いろいろと調べさせていただいたのですが、スパルタンレースというのは大きな規模で実施しており、誘致するとなると世界最高峰の障害物レースが千葉で開催されて非常に良いと思いました。誘致の見込みや現在どのようなフェーズにあるかを教えてください。

【株式会社千葉マリスタジアム(佐川)】 この件については、魚路のほうから回答します。

【株式会社千葉マリスタジアム(魚路)】 実は何年か前にお話をいただいている部分もありまして、そういった中でコロナ禍等により、大きなイベントの利用の調整がなかなか詰め切れずにいたところなんです。そんな中、ぜひ次の指定管理、任せていただけるのであれば、前向きに進めていきたいというところで関係者とも話をしております、非常に喜んでいただいているという現状です。

【観音寺委員】 沖縄なんかで開催されているみたいですね。

【株式会社千葉マリスタジアム】 そうですね。

【観音寺委員】 関東では開催はありますか。

【ジェフユナイテッド株式会社(佐藤)】 関東では、神奈川の八景島のほうで開催されたりしているようです。

【観音寺委員】 オリンピックのような競技になるかどうかは議論もあるかと思いますが、このようなまだ知られていないスポーツを千葉に呼び込んで、そこから発信して、東京の人にも来てもらう、知ってもらうというのは、施設活用という意味で非常に意義があると思いますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。以上です。

【石井部会長】 御質問いかかでしょうか。

はい、どうぞ。

【霞委員】 少し観点変わって、今御説明あった提案書の67ページに収支予算書を掲載いただいておりますが、特に人件費についてお伺いします。支出の人件費の伸びは、毎年これを見積もられるときにどの程度の伸びで予想されたのか、それから過去の伸びとの関連、過去に御経験あると思いますので、実績との比較を簡単に御説明いただければと思います。

【株式会社千葉マリスタジアム(佐川)】 今回この収支表の中での人件費の試算というのは、令和5年度の実績でかかっている人件費を基に試算したのですが、御承知のとおり物価上昇において人件費の部分でも賃上げがありました。アルバイト、パートさんに関しても、このたび千葉県でも1,070何円かに賃上げしてきていますが、そういったことも含めての計算と

なります。ただ、これは人の入れ替えもありながら、5年度の実績を基にまず初年度である令和7年度は組み立てさせていただきました。それから毎年1年ごとに人件費を大体0.5%ほど上げているという試算表になっております。

【霞委員】 過去のトレンドと大体同じような感じですか。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 そうですね、過去はこの5年間で1%ずつ上げています。ただ賃上げ等を含めた上で実際に次の5年間を見込んだときに人の構成をきちんと組み立てた上での人件費の試算を1%じゃなく0.5%でさせていただきます。

【霞委員】 人数的にはずっと一緒の前提ですか。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 はい。蘇我もようやく全ての施設が管理、整備されて、そこに係る人件費の数というものは大きくは変わっていかないと考えております。

【霞委員】 分かりました。ありがとうございます。

【石井部会長】 馬場委員いかがでしょうか。

【馬場委員】 提案書37ページの施設の利用促進のところでは様々な事業を計画されていると思いますが、2番の市民の健康増進、スポーツ振興のスポーツ実施率の向上につながるような活動はどのようなものをイメージされているのかお聞かせください。その次の「障がい者スポーツ」も、施設によってできる内容が限られると思ったので、障害者スポーツでもどういったものを考えていらっしゃるか。最後、4番のシニア層をターゲットにしたものも、どういったものを想定されているかという、施設によってできる内容がかなり制限されると思うので、どういった活動を想定されているのか、もしあればお聞きしたいと思います。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 これについては、ジェフユナイテッド佐藤のほうより回答します。

【ジェフユナイテッド株式会社（佐藤）】 私ども他のスポーツ団体等とも連携しながら行っておるんですが、実際に体育館でやるようなスポーツはなかなか難しいですので、人工芝を使うアメフトのチームと連携したり、今またオリンピック競技にフラッグフットボールがなるのか、そういったトレンドもありますので教室などをやっていきたいと思っております。

また、ジェフではゴルフパークなどでPGAプロゴルフ協会さんとも連携してイベントを行ったりしておりますので、そういったものも取り込みながら、様々なスポーツを楽しんでもらって事業を拡大していきたいなと思っております。

【株式会社千葉マリスタジアム（魚路）】 続いて障害者スポーツですが、特別提案にも少々記載させていただいておりますが、まずはフクダ電子アリーナ、サッカーのスタジアムと

ということで、視覚障害をお持ちのブラインドサッカー、聴覚障害をお持ちのデフサッカー、身体障害、足が御不自由な方、松葉杖を使って行うサッカーなんですが、まずはそういったスポーツを中心に行っていきたいと考えております。障害をお持ちのスポーツ団体さんは横の連携も強いと思いますので、そこからできることをどんどん広げていきたいと思っております。

続いて、シニア層をターゲットとした活動ですが、現在でもウォーキングの教室や太極拳の教室を行っております。あとは、第三多目的グラウンド、フクダ電子ゴルフパークというグラウンドゴルフだったりできる施設があるんですが、その稼働率上昇にも寄与できるように教室を開催してまず足を運んでいただきたいと思います。その中でプラスして、そこに行く教室を通じてお友達がいるという環境をつくっていくことで、コミュニティを形成し健康を促進してもらうとともに、あそこに行く楽しいなと思っただけのような環境をつくっていききたいと考えております。

【馬場委員】 ありがとうございます。

スポーツ実施率の向上というとき、年に1回何かイベントに参加するよりも、定期的に毎週とか週何回とか、そういった活動につながるようなものをうまく展開していただけたらいいなと思ったので述べさせていただきました。

それからシニア層も含めて今まで積極的にスポーツをしない人でも、そこに行ってみたいなというような工夫があるといいと思っ質問させていただきました。

それからスパルタンレースですが、以前、東京ドイツ村でやっていましたよね。

【株式会社千葉マリスタジアム（魚路）】 そうです。

【馬場委員】 少しお手伝いしたことがあったので、あれがこの蘇我でできたらすごいなと思って話を聞いていました。ありがとうございました。

【石井部会長】 そのほかいかがでしょうか。

では私からですが、提案書の52ページ、市内業者の育成のところ再委託先の考え方として、原則的に市内業者から選定すると書かれています。現在はどうなっているのでしょうか。市内業者だけになっているのか、どの程度市内業者から選定しているのか等、教えていただければと思います。

【日本メックス株式会社（渡辺）】 現在も、基本的には市内業者をまず考えまして、さらにそれ以上の専門的な分野に及ぶような際には、市外、県外に広げて選択しています。

【石井部会長】 どの程度の割合か分かりますか。

【日本メックス株式会社（渡辺）】 割合は、おおよそ市内業者が5、60%ぐらいだと思います。

す。

【石井部会長】 それから65ページ、特別提案の10番、ポータブル振動異常検知装置の設置とありますが、これはどういうことでしょうか。読んでよく分からなかったのですけれども。

【日本メックス株式会社（渡辺）】 一応、振動異常検知ということで色々なセンサーがあるのですが、検討しているものと、例えば漏水センサーは電気室に置いて大雨や水漏れがあった際にそれ以上の事故を防ぐために迅速に察知する、というような感じです。あと、振動異常のほうですが、これはポンプに設置しまして、夜間にもし異常な振動を検知した場合に、迅速に夜間でもメールが飛ぶようになって、すぐに対応できるような体制を取ることが可能となっております。

【石井部会長】 蘇我スポーツ公園のどこにどうやるのかということが分からないので、聞いているのですけれども。

【日本メックス株式会社（渡辺）】 例えば、蘇我スポーツ公園の給水設備の給水ポンプなんかに取りつけまして、異常を迅速に察知して、翌日利用者さんに極力迷惑がかからないような対応を行うことで、それ以上の被害の拡大を防止します。

【石井部会長】 特にフクダ電子アリーナに限ったものではないのですか。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 そうです、各施設の電気機械室等に設置します。そういった中で、例えば大きな地震によって設備が異常になっていると、振動でこの検知器がまず検知を行い、常駐警備へ何らかの形で知らせた責任者が駆けつけて、被害を最小限に食い止めるという形になります。設置に関しては今までの経験を含めて、老化している設備があれば、そこから優先的に振動検知器を設置していくという形で行いたいという計画であります。

【石井部会長】 同じく65ページの9番で、蘇我球技場フクダ電子アリーナの芝の話だと思うのですが、こうすることによって、これまでよりもよくなる、改善されるだろうということでしょうか。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 では、石井のほうから回答します。

【日本体育施設株式会社（石井）】 では、お答えさせていただきます。

このソイルメカニクスを導入することによりまして、今までは土壌の何センチ下のポイントしか計測できなかったものが、地上部から深部にかけてインチ単位で計測できるようになります。

私ども2020年から管理開始させていただきまして、当初は前年に行われた改修工事の影響もあって土壌の腐食化が進んでなかったことで、なかなか芝草が養分を吸い上げられるような状

態には至っておりませんでした。そこで、いかに土壌微生物が活性できる環境をつくれるかというアプローチを継続してまいりまして、現在このソイルメカニクス、昨年からも導入はしておりますが、地上部から何センチまではこう変わってきたというのが見える化しております。なので、今後これを継続することによって、その資材を投入する方法ですとか、投入した後の散水の量とか、それらを全部コントロールして、今どのポイントで、どうこの根っこを改善したいのかを具現化させながら、改善を進めていければと思います。

以上です。

【石井部会長】 そうすることで提案書の16ページにある芝生管理をさらによくしていく、ということでしょうか。

【日本体育施設株式会社（石井）】 そうです、はい。

【石井部会長】 これは質問というよりもお願いというか、Jリーグで芝の評価を毎年されているということで、プロから評価されるような芝にしていってほしいなと期待しています。

【日本体育施設株式会社（石井）】 どうしても、今までは夏場に点数を落とす傾向がありましたので、今の夏芝の改善というのを主眼に置きながら進めてきまして、徐々にそのベースとなる根っこというのは夏芝自体できてきていますので、引き続き新しい資材、新しい管理手法を模索しながら改善を進めていければと思います。

【石井部会長】 それから蘇我スポーツ公園の中に様々な施設がありますが、ある施設を使っている人、来ている人に対して、ほかにこんなことがありますよ、という案内や広報についてはどのようにお考えでしょうか。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 今現在も実施しているんですが、基本的にそのサッカーの施設、ここに関しては非常に稼働が高い状況にありまして、そちらに対して積極的な広報というのは特に大きなものは行っていません。ただ、ゴルフパークは利用人数や利用頻度でなかなか活性化していないというところで、サッカーやテニスの各管理事務所だったり、ここはゴルフパークありますよとか、あとは公園のところに、こちらにこんな施設ありますというような案内をして、そこで、あれ見てきたよというようなお客様が増えている状況ということになっています。

あとは、各施設のメールマガジンも今、展開していますが、そこに登録していらっしゃる方にこんなイベントありますよというような案内を、ゴルフパークを主眼にして今進めています。

【石井部会長】 いろいろ難しい問題があるのかもしれないですが、フェスは別としてあそこで一番人が集まるとすればジェフさんの試合だと思います。なので、そのジェフさんの試合を

観に来た方たちに対して施設の全体のことを何らかの形でアピールできるようにしてもらえるといいのではないかなと思いますので、大変なことはあるのかもしれないですが、その辺お願いできればなと思います。

あとは、そのジェフさんが今はJ2ですけれども、J1になればさらに人が集まると思うので、そこも頑張してほしいなど、質問ではなく期待しているので、お願いしたいと思います。

【株式会社千葉マリスタジアム（佐川）】 ありがとうございます。

【石井部会長】 そのほか何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で終了となります。

これまでの経験も踏まえて、また選定されれば、しっかりと対応していただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

では、以上で終了となります。SSP UNITEDのさん、どうもありがとうございました。

（SSP UNITED 退室）

【石井部会長】 それでは、ただいまのヒアリングを踏まえ、事務局に対する確認事項等がございますでしょうか。

特にないでしょうか。

それでは、ここから採点に移りますが、採点方法について事務局から御説明をお願いいたします。

【都市総務課長補佐】 それでは、採点方法について御説明をいたします。

まず、お手元の資料7、採点表を御覧ください。

各設問に対して該当する評価区分、A、B、C、D、Eの1つを丸で囲んでいただきます。最初に説明がありました採点表中の大項目である2の（1）、5の（2）、6の（1）、6の（3）、6の（4）につきましては、応募者から提出された申請書類を基に、あらかじめ採点はしてありますので御確認ください。

なお、採点結果において、一部の項目を除き5段階評価で採点をしていただきますが、原則いずれか1項目にでも過半数の委員の方がDの評価をした場合、または1人以上の委員の方がEの評価をした場合は、応募者を失格とすることが相当であるか否かの協議を行っていただくこととなります。また、全ての委員の方がEの評価をした項目があった場合は、直ちに失格となります。ただし、これは3点、10点、25点の配点の設問については例外となります。

審査基準につきましては資料8に、お手元に配付しておりますので、適宜御確認しながら採

点をしていただきたいと思います。

説明は以上となります。

【石井部会長】 ありがとうございます。

採点方法について御質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

特によろしいでしょうか。

それでは、採点を行ってください。

(審査・採点)

【石井部会長】 採点のほうは終わりましたでしょうか。

それでは、委員による意見交換を行いたいと思いますが、何かございますでしょうか。

特によろしいですかね。

【観音寺委員】 選択肢もないと思われまして、実績もありますので。

【石井部会長】 そうですね、これまで5年間やってきているということも踏まえれば、はい。

(「特にございません」の声あり)

【石井部会長】 よろしいですかね。

では、意見交換を終了とします。

採点表を確定としますので、いま一度、御確認をお願いいたします。

では、よろしいようでしたら、事務局の皆さん採点表の回収と集計をお願いいたします。

(採点表回収・集計)

【石井部会長】 事務局が集計を終えるまで、しばらく休憩といたします。

午後 3時15分 休憩

午後 3時29分 再開

【石井部会長】 それでは、事務局での集計が終わりましたので、部会を再開いたします。

集計結果を事務局から報告をお願いいたします。

【都市総務課長補佐】 今、お手元に集計結果をお配りさせていただきました。

それでは、結果を御報告いたします。

各委員の採点はお手元の集計結果に記載のとおりでございます。なお、過半数の委員の方から、D、または1人以上の委員の方からEの評価をいただいた項目はございませんでした。失格要件はございません。

以上でございます。

【石井部会長】 ありがとうございます。

ただいま、事務局から集計結果を御報告いただきましたが、当部会としてSSP UNITEDを指定管理予定候補者に選定することについて御異議はございますでしょうか。

(「ありません」の声あり)

【石井部会長】 では、ないようですので、千葉市蘇我スポーツ公園に係る指定管理予定候補者はSSP UNITEDとして、市長に報告いたします。

なお、選定理由及び意見についても報告することとなっております。意見等ございますでしょうか。

はい、お願いします。

【観音寺委員】 先ほども申し上げたとおり、過去の実績等から安心してお任せできるのかなと思います。基本的な管理は問題ないという前提の下に、大型コンサートに対する考えが少し気になりましたので特別提案について質問させていただきました。基本的にはこれまでどおりの形でしっかりと管理運営をしていただいて、千葉市にとっても重要なスポーツ施設として運営していただきたいなと思います。

以上です。

【石井部会長】 そのほか御意見いかがでしょうか。

【馬場委員】 では、コメントだけ。

【石井部会長】 はい、どうぞ。

【馬場委員】 施設の指定管理なのでいいのかもしれないのですが、私が質問したのは、市のスポーツ振興施策においてこの施設を有効活用する自主事業を実施するなど、もう少しうまく連動してくれるといいないつも思っているのですが、施設を有効活用するという視点だけでなく千葉市のスポーツ振興とか政策にうまく施設が関わっていくような提案がもっとあると個人的にはよかったですと思いました。それから、ジェフに関しては貢献が弱いような感じがしていて、マリスタジアムは施設管理をする会社だからいいと思うのですが、ジェフユナイテッドは自主事業や広報をすることが期待されていると思いますので、そこがこの4社の中では少し弱いなと思いました。どこまでが自分たちのクラブの活動で、どこからがSSPの自主事業なのかという区別は多分難しいと思いますが、ジェフに期待されているところが大きいと思うのでもっと頑張ってもらいたいなと個人的に思いました。

【石井部会長】 そうですね、千葉市との関係というところでは、市のほうも積極的にこれから話をしていってもらえればなと思います。

霞委員、特によろしいですか。

【霞委員】　そうですね、今皆さんがおっしゃったように、現管理者でやっていただいているので、問題点もきちんと把握されているし、対応も適切にやられているという印象なので、引き続きしっかりとやっていただければなと思っております。

【石井部会長】　私も、今まで皆さんから出された意見のとおりだと思います。この5年間の実績もありますので、この先の5年間の指定管理も問題はないだろうと、選定して間違いないのだろうとは思いますが。ただ、そのほかに応募者がいなかったからということであぐらをかきということではなく、さらによりよいものを指定管理していただきたいなと思えます。

以上、私も含めて、委員の皆さんからいただいた意見、これを部会の意見といたします。

なお、市に対して答申する際の文言等の整理につきましては、私と事務局のほうに御一任いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

（「大丈夫です」の声あり）

【石井部会長】　では、以上で、議題（1）千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理予定候補者の選定についてを終わります。

本日の議事は終了しましたので、令和6年度第4回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しいたします。

【都市総務課長補佐】　皆さんありがとうございました。

ここで公園緑地部長の小川からお礼の挨拶をさせていただきます。

【公園緑地部長】　委員の皆様には、本日、本当に慎重な御審議をいただきまして誠にありがとうございました。今後、様々な手続を進めまして、指定管理者として正式に決定していくことになるわけですが、引き続き市としましても事業者と一緒に密に連携を図りながら、公園の適正な管理及び今御意見いただきましたとおり市政全般、まちづくり全般にぜひ寄与できるよう取り組んでいきたいと思えます。委員の皆様におかれましては、これまでと変わらぬようぜひ引き続き御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願ひしたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。

【都市総務課長補佐】　どうも皆さん、長時間にわたる御審議ありがとうございました。本日選定いただきました指定管理予定候補者と協議を進めてまいります。その後、来月開催予定の令和6年第4回定例会におきまして指定管理者の指定の議案を提出させていただきます。

本日の会議は、これにて終了させていただきます。

委員の皆様、本日はありがとうございました。

午後 3時35分 閉会